

バスの時刻表作成ソフト



運行時間が山型に表示されるダイヤ編成システムの画面

Cリーソフト開発（戸田市）

高齢化社会の移動手段を担う 小規模バス事業者向けダイヤ編成システムの開発

オフコン等を使用した規模の大きなバス会社向けのダイヤグラム編成システムは20年ほど前から運用されていたが、高価なため小規模バス事業者が導入するのは難しかった。そのためこれまで専門職が手作業で行っていたのだが、複雑な作業の

ためダイヤに交通の実勢とズレが出てきた場合にも、すぐにダイヤを改正するのは困難だった。

今回開発したダイヤ編成システムの基本機能は、車の配置、労務基準に沿った乗務員の割り当て、接続する電車への乗り継ぎ、混雑時に運行間隔を狭くするなどのサービスダイヤなど、踏まえて運行計画をシミュレーションし、時刻表を作成すること。導入することによって事業者が持つている車と人員を効率良く使い、利用客に対してもサービスの質を上げることができる。クラウドを利用するシステムなので、規模の異なる事業者にもフレキシブルに対応することができ、

バスの場合、スーパードが1

軒でただで乗降客の状況が極端に変わり、バイパスが1本開通しただけでも通過時間が変わる。道路の渋滞状況や降雪などの季節的な要素も大きな影響を与える。そうした道路事情や周辺施設の状況に応じてきめ細かく、短いスパンでダイヤ改正が行えるのがシステム導入のメリットで、それは収益や顧客サービスにも結びつく。

また労務管理の上でもメリットがあるという。バスの運転手は変形労働であり、変形労働の課題は労働時間の均等化だ。運行計画をすれば労働時間が分かるため、病気などで乗務員が交代するなどのイレギュラーな事態が発生した場合でも健全な労務管理が行える。現在試作品は完成しており、大手と組んで具体的に販売する契約も進んでいる。

【Cリーソフト開発株式会社】

本社は戸田市川岸1の6の10。牛渡智代表取締役。2012年12月に戸田市で設立。16年4月に東京都千代田区九段北1の4の7に事業所を開設し、ITコンサルティング、CMSを利用したWEBサイト構築、クラウド型システム開発を行っている。交通系のシステム開発を得意とし、今後はWEBのデータを解析するデータ・アナライズ業務も展開していきたいとのこと。